

「美術Ⅱ」シラバス

教科名	対象学科	学年	科目名	単位数	必修・選択
芸術	グラフィックアーツ	3	美術	2	必修
使用教科書	日本文教出版 高校美術2	補助教材	参考作品・写真・映像		

1 科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2 学習上の留意点

- (1) 生徒は美術時間の約束ごとを守り、安全で快適な学習環境の中、活動が行われる
- (2) 教師は常に机間巡視を行い、活動の段階に応じたアドバイスや実態に応じた教材の提供を行う

3 評価の方法

- (1) 評価は4つの観点（①関心・意欲・態度②思考・判断③技能・表現④知識・理解）に基づき、授業態度や出席状況、課題提出、定期考査を総合的に判断し、最終的な評価は学年末に5段階評価で行う。
- (2) 成績不良「1」の場合、追試、課題レポート提出等の結果を判断して単位認定を行う。
- (3) 学年末において、所定の出席時数を満たさない場合は、科目履修の認定はできない。

4 学習計画

学期	月	時間	題材	指導内容	備考
1	4	2	(鑑賞) オリエンテーション	美術Ⅱで学ぶこと。授業での注意事項。準備するもの。	教科書
	5	3	(絵画・彫刻) デッサン①	鉛筆の削り方。グラデーションや見本をよく見て描く。	教科書・鉛筆・ナイフ・ワークシート
		5	(絵画・彫刻) デッサン②人物画	自分の描きたい有名人を選び、鉛筆を使い明度やタッチで描く。鑑賞と評価。	画用紙・写真・鉛筆・練り消し・ワークシート
	6	4	(絵画・彫刻) 絵具の話と水彩画	絵具の種類について理解を深める。水彩絵の具の特徴を活かし花を描く。鑑賞と評価。	教科書・ワークシート・水彩絵の具・パレット・筆・筆洗
	7	6	(絵画・彫刻) 模写	教科書の中から作品を一つ選び模写をする。その作家について調べ発表する。鑑賞と評価。	教科書・絵具・パレット・筆・筆洗・画用紙
	6	(映像メディア表現) 写真表現のさまざまな形	自分で撮った写真と異素材とのコラージュで自己の内面を表現する。鑑賞と評価。	教科書・カメラ・プリンター・ピース・糸・針・ワークシート	
2	9	6	(デザイン)	ポスターの役割について理解を深める。	教科書・画用紙・絵具・パレット・

	10		ポスター	学園祭のポスターを制作する。鑑賞と評価。	筆・筆洗・ワークシート
		6	(絵画・彫刻) マスクを作ろう	ハロウィン用のマスクを制作する。 アイデアを半立体におこす。鑑賞と評価。	マスク・絵具・パレット・ 筆・筆洗・ワークシート
	11	8	(映像メディア表現) しりとりアニメーション	パラパラ漫画の原理を知る。共同でしりとり アニメーションを制作する。撮影と鑑賞。	教科書・紙・マジック カメラ・パソコン
		6	(絵画・彫刻) 空創動物張り子	琉球張り子について理解を深める。独創性の ある生き物を構想して創造し、張り子で制作 する。鑑賞と評価。	教科書・ワークシート粘土・ 新聞紙・のり・アクリル絵の 具・筆・筆洗・パレット
	12	2	(鑑賞) 建築家のいない家	世界では場所によって家作りが違うことを 知る。未来の家のスケッチをする。	教科書・ワークシ ート 映像資料
3	1	4	(デザイン) 気持ちを届ける形	グリーティングカードについて知識を深め る。 ポップアップ技法を使いカードを制作する。 鑑賞と評価。	教科書・ワークシ ート 画用紙・色紙・カッタ ーナイフ
	2				
	3	10	(絵画・彫刻) 卒業生に贈る～	卒業をテーマに壁画の共同制作に取り組む。 鑑賞と評価。	画用紙・ワークシ ート 絵具等
		2	(鑑賞) 一年間のまとめ	一年間の作品を振り返り、学んだことを整理 し、美術について理解が深まるようにする。	教科書・ワークシ ート